



南蒲原森林組合



1

① 左から森林技術員の佐藤陵さん(21歳)、竹石柊さん(29歳)、栗山顕匠さん(22歳)、リーダーの山崎大輔さん(46歳)。林業経験1年半の栗山さんは「自然の中で体を動かす仕事は楽しい」と話す。林業経験3年半の佐藤さんは「伐採の技術を高めたい」と目標を語ってくれた ② スタッフ同士の仲が良く、休憩時間や作業後に事務所へ集まると、笑い声が絶えないという



2

若手育成で林業の未来を守る 新たな「南蒲ブランド」を展開

丁寧な仕事と伝統の技を継承する南蒲原森林組合の「南蒲ブランド」では、近年、若手育成に力を入れている。森林技術員18人のうち正職員の平均年齢は34.6歳と、とても若い。「若い人をしっかり育てる」「未来投資型」を重視しています。好きで林業に入った若者が山を嫌いになつて辞めてしまうことを避けた。若手を育てることは、うちだけでなく、未来の林業全体の維持・活性化にもつながると思います」と組合長の名古屋金市さんは話す。

この日の現場は平成23年の水害で森林崩壊が発生した三条市下田の荒地。リーダーと若手3名によるチームが固い地盤に穴を掘り、植栽の準備を進めていた。機械化が進む林業の現場でも手作業でしかできない工程がある。熱心に作業に取り組むチームの姿から南蒲ブランドが次世代に受け継がれていく力強さを感じた。



3

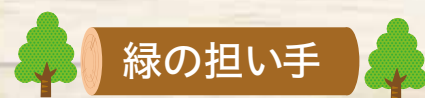


4

③ 固い地面で行う穴掘り作業は重労働。今もこうした丁寧な手作業が林業を支えている ④ 「読売の森」と「にいがた緑」の百年物語の植樹活動の現場。後日、子どもたちが苗木を植え付ける予定 ⑤ 唐鍬(とうくわ)で固い地面に穴を掘る、竹石柊さん。「林業は仕事の成果が分かりやすい。季節を感じられる現場も楽しい。残業がないのも良いです」



5



緑の担い手

～大自然の中で、プロ意識を持って働く人たち～

竹石 柊さん

TAKEISHI SHU

年齢:29歳 林業経験:4年6ヵ月

自然環境を守る、大切な仕事

溪流釣りやアウトドアが好きで、山の仕事に興味を持ちました。森林を整備することで川の生態系も守られると知り、自分の仕事が自分の好きなことにつながっているのがうれしいです。現在はGPSを使った測量を担当。任せてもらえる喜びと責任を感じています。林業は体力を使う大変な仕事ですが誇りを持って取り組んでいます。もっと多くの人にこの仕事の大切さを知ってもらえたらと思います。



加茂市

住所 ● 加茂市大字下高柳1-1
電話 ● 0256-53-0080
設立 ● 1990年
出資金 ● 6,000万円
従業員数 ● 25人(森林技術員18人)
勤務時間 ● 7:30~17:00
主な勤務地 ● 加茂市、三条市、田上町ほか
主な従事業務内容 ● 森林整備、受託林産・買い取り林産